

「当院の小児リハビリテーション」

～特性に対して運動面からのアプローチを中心に～

公立学校共済組合 四国中央病院 リハビリテーション科

理学療法士 兼好達也



運動面から発達を促しています

▶ 特性:

- 多動・不注意
- 社会性の問題（コミュニケーション困難）
- 不器用さ
- 発語の遅れ
- 読み・書きの困難さ

など



【身体図式】及び【行為機能】の弱さが目立つ。



身体図式とは？

▶ 身体図式とは？：

■ 脳の中にある【身体についての地図】のこと。

↳ 「【地理的要素】（身体の地図の把握）」と「【機能的要素】（身体の機能の把握）」の2つの機能がある。
この3つの感覚により発達！



（左側）
身体図式が曖昧・・・

（右側）
身体図式が明確

■ 身体図式とは？

▶ 地理的要素（身体の地図の把握）：

■ 主に【触覚】と【固有受容覚】により発達する。

↳ 「自分の身体の輪郭」や「頭や手足など身体の各部の位置関係」や「手足の長さ」や「身体の幅、大きさ」を把握する能力。



物に触れたときに
感じる感覚

固有受容覚



筋肉や関節の動きを
感じる感覚

■ 身体図式とは？

▶ 機能的要素（身体の機能の把握）：

■ 主に【固有受容覚】と【前庭感覚】により発達する。

↳ 「よじ登る」「しがみつく」「ジャンプする」など環境にチャレンジする中で、どのように手足や体幹を動かせるか、自分にはどの程度の運動能力があるのかを把握する能力。



固有受容覚



筋肉や関節の動きを
感じる感覚

前庭感覚



身体の傾きや回転、
加速度などを感じる
感覚

■ 身体図式とは？

▶ 身体図式が曖昧だと・・・:

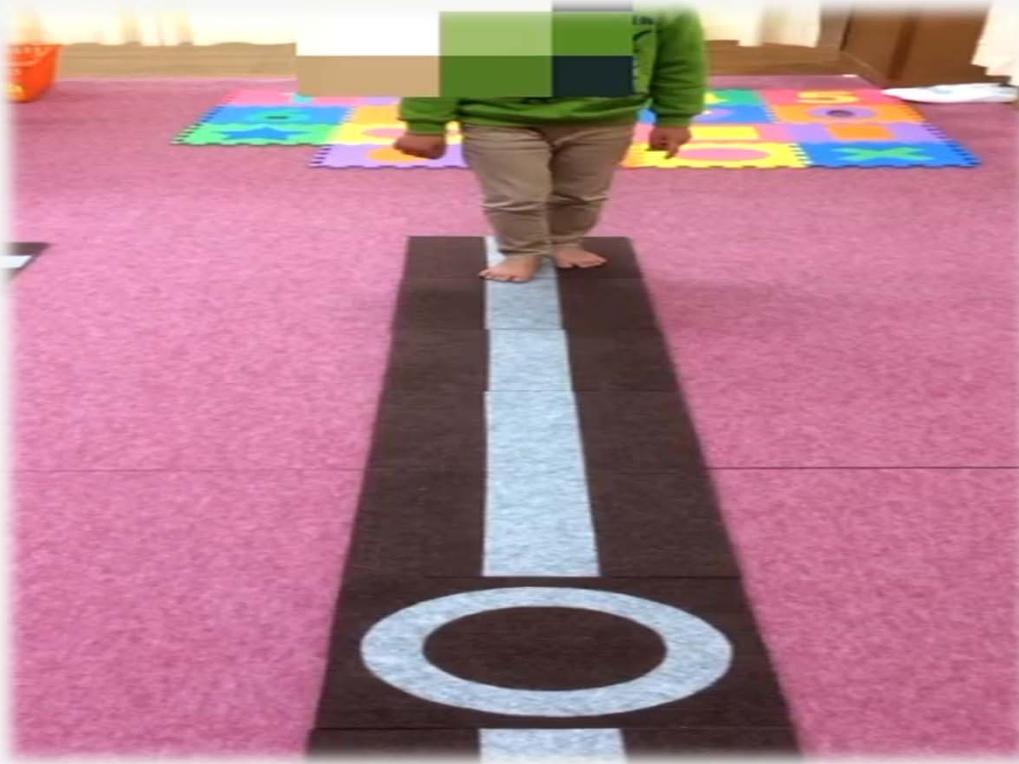
- ▣ 自分の能力ではできない遊びや活動をしよったりする（能力を過剰に判断）
- ▣ 逆に出来そうな活動をしなかったりもする（能力を過少に判断）



■ 身体図式とは？（動画）

🎥 身体の地図の把握トレーニングの1例:

■ アイマスクをして足の裏の感覚で進む→○で止まればOK！



✓ 触覚
物に触れたときに
感じる感覚

✓ 固有受容覚



筋肉や関節の動きを
感じる感覚

✓ 前庭感覚

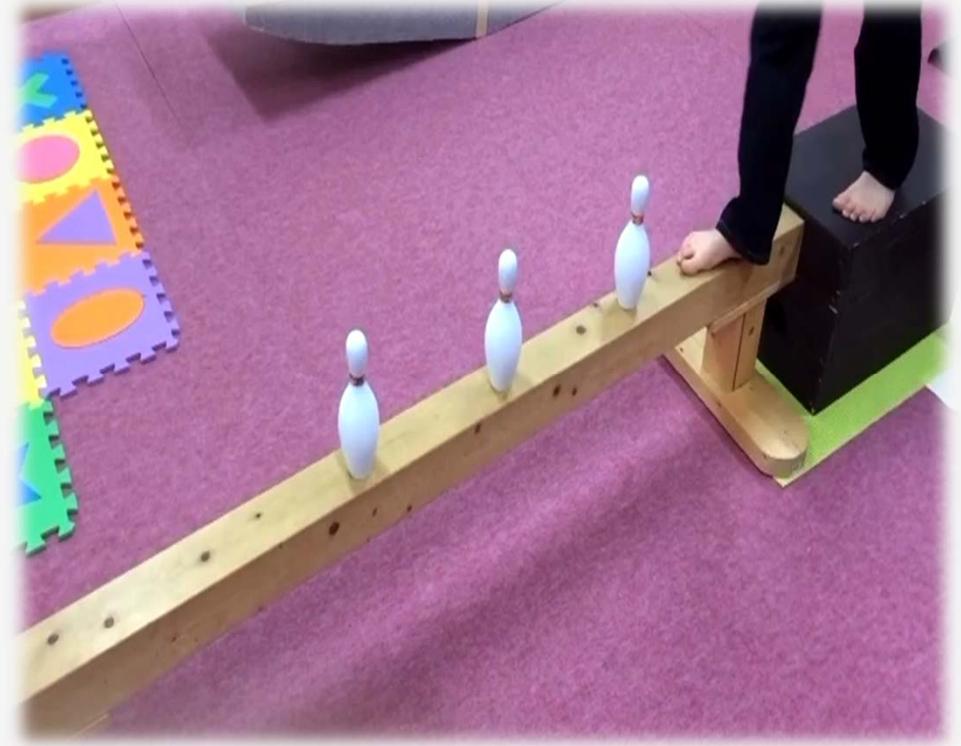


身体の傾きや回転、
加速度などを感じる
感覚

身体図式向上トレーニング（動画）

◎ 身体機能の把握トレーニングの1例:

▣ 姿勢の模倣、平均台。



■ 行為機能とは？

▶ 行為機能:

■ 環境や状況に応じて、目的を達成するために、身体を上手く使いこなし環境を操作する能力。

① 観念化



自分がいる環境やそこにあるもので何ができるかひらめく



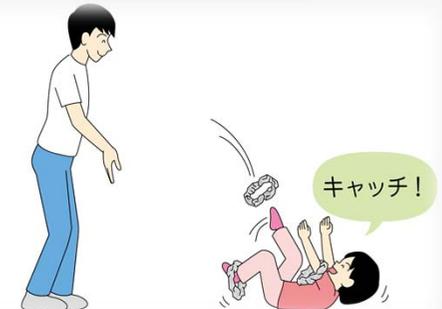
② 順序立て



観念化で得たアイデアを具体的なものにするために、どのような手順で行えば良いか計画



③ 実行



この組み立てられた計画を実際の運動を通して行う

- 実行が上手いけば、「こうしたらこうなった」と因果関係を学習出来たことになる。
- 因果関係の学習は「こうすればこうなるであろう（予測・見通し）」の基盤となる。
- 見通しを持ちにくい子は行為機能が未熟。

■ 行為機能と対人関係

- ▶ 行為機能は人的環境と関わる上でも不可欠：
 - 例：初対面では普通言わないような失礼な事（臭いですね、あなた太っていますねなど）を言ってしまう。

↳ 順序立てが出来ていない。



- 人的環境は物理的環境よりも曖昧：

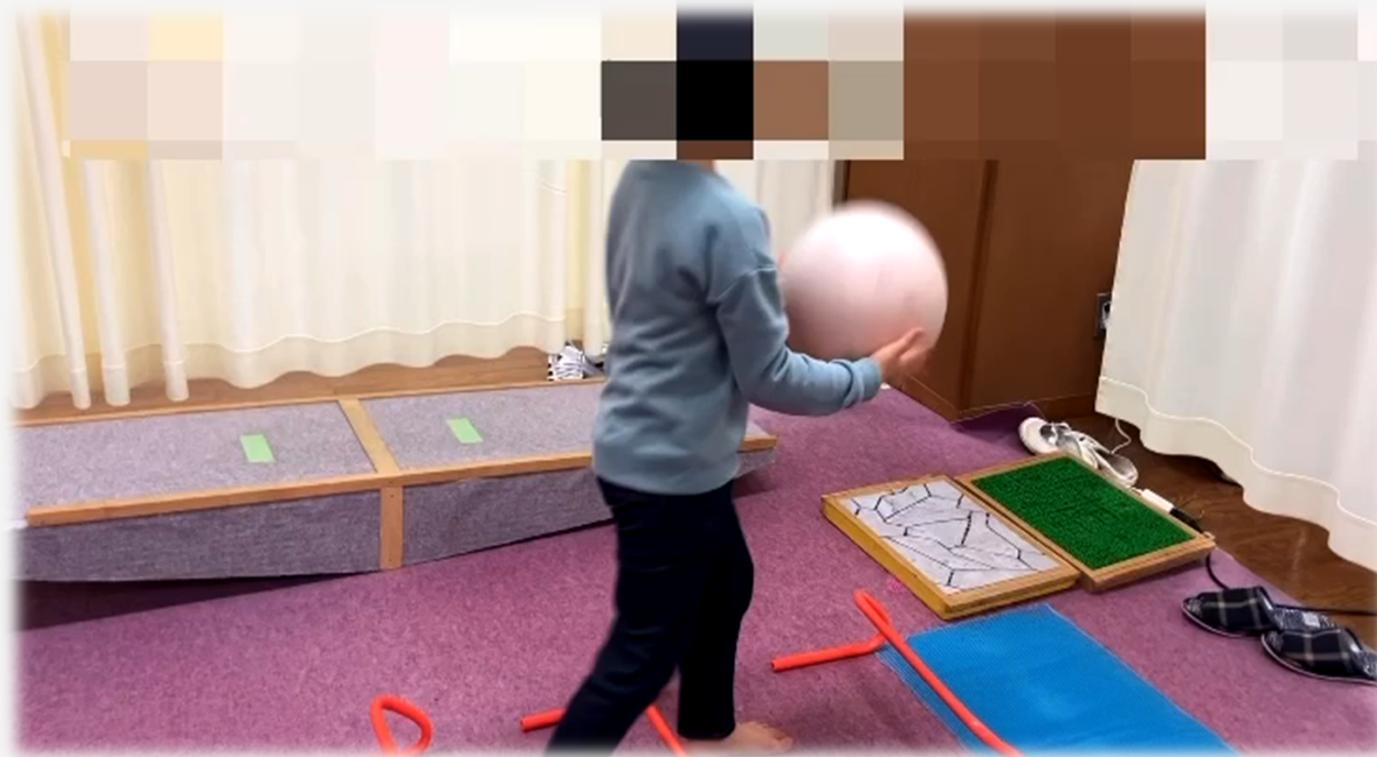
↳ 物理的環境が上手く操作できない子どもはより複雑な人的環境のほうが手ごわい。



□ 行為機能向上トレーニング（動画）

◎ 順序立てトレーニングの1例:

■ 時間に従って、運動を順序よく切り替える活動（ハードル＋ボール投げ）



■ 行為機能向上トレーニング（動画）

◎ 順序立てトレーニングの1例:

- 時間に従って、運動を順序よく切り替える活動（ボールを取る＋投げる＋打つ＋入れる）
上手になってきた！ 😊

まだ少し苦手 🐰



※音声変えています

■ 行為機能向上トレーニング（動画）

◎ 順序立てトレーニングの1例:

- 順序がある遊びを行う。※わかりにくい場合は、どういった順番で行うか、具体的に言葉や絵、文字^①などで提示。
上手になってきた 😊 まだ少し苦手 🤔



※音声変えています

【楽しく遊んで発達の向上】が望ましい

☛【訓練】になりすぎないように。遊びから発達を！

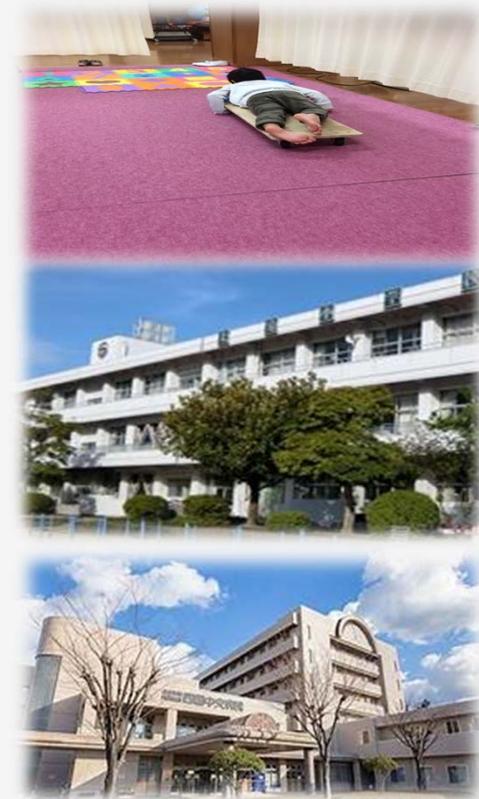
☞ 楽しくないと発達への良い刺激にはなりません。

☛園や学校とも連携をとって対応を図っています。

☞ 個別の支援会議への参加依頼や、講師依頼などあればお受けしております。

☛気になることがあればお気軽にお問い合わせください。

☞ 先ずは当院小児科までご連絡ください。



ご清聴ありがとうございました。

